

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

気候変動被害に新基金 COP27閉幕 途上国向け合意

エジプト・シャルムエルシェイクで開催されていた気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）は20日、気候変動に伴う被害を受けた途上国支援のための基金を設立することに合意し、閉幕した。地球温暖化の被害を軽減し、特化した国際的な基金の設立は初

また、2027年のCOP28までの合意を踏まえ、石炭火力発電の「段階的削減」を盛り込んだ「シャルムエルシェイク実施計画」を採択した。気候変動の影響に伴って発生した被害は「損失と被害（ロス&ダメージ）」と

呼ばれる。防災分野など被害防止・軽減策に対する基金はあったが、既に発生した被害の補償に特化した仕組みはなく、海平面上昇などの影響を受ける島しょ国などが30年以上前から支援を求めてきた。

「途上国向け」という目標を達成するよう先導国を誘う

- ・気候変動の影響を軽減し、石炭火力発電の「段階的削減」や、非効率な化石燃料への補助金の「段階的廃止」などを盛り込み、COP28で合意した方向性はさらに維持した。

英国などが基金新設案を提案し、18日までの予定だった会期を延長して協議を続けた。決定文書では、支援の対象を「気候変動の影響を特に受けている途上国」とした。基金設立に向けた専門の委員会や支援の具体的な対象国や資金調達のあり方などを検討し、23年のCOP28までに詳細を決める。

「1.5度」を、21年のCOP26で事実上の世界共通目標に引き上げたが、同様

侵襲後のエネルギー危機で、化石燃料回帰の動きもある中、COP27では気候変動対策の停滞を食い止められるかも注目された。

「1.5度」を、21年のCOP26で事実上の世界共通目標に引き上げたが、同様

「途上国向け」という目標を達成するよう先導国を誘う

- ・気候変動の影響を軽減し、石炭火力発電の「段階的削減」や、非効率な化石燃料への補助金の「段階的廃止」などを盛り込み、COP28で合意した方向性はさらに維持した。

「途上国向け」という目標を達成するよう先導国を誘う

- ・気候変動の影響を軽減し、石炭火力発電の「段階的削減」や、非効率な化石燃料への補助金の「段階的廃止」などを盛り込み、COP28で合意した方向性はさらに維持した。

「途上国向け」という目標を達成するよう先導国を誘う

- ・気候変動の影響を軽減し、石炭火力発電の「段階的削減」や、非効率な化石燃料への補助金の「段階的廃止」などを盛り込み、COP28で合意した方向性はさらに維持した。

「途上国向け」という目標を達成するよう先導国を誘う

- ・気候変動の影響を軽減し、石炭火力発電の「段階的削減」や、非効率な化石燃料への補助金の「段階的廃止」などを盛り込み、COP28で合意した方向性はさらに維持した。